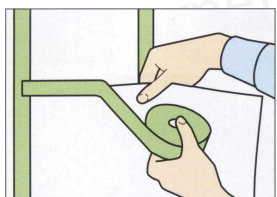


1 旧塗膜の膨れや不安定な劣化、剥離塗膜はディスクサンダーなどで全て除去し素地まで出します。同時に活膜部も全面もれなく粗面にします。FRPは艶がなくなるまで研磨。(旧塗膜がアクリル、塩ビの場合も全て塗膜を除去。)十分な下地調整を行い清掃・脱脂し十分に乾燥(含水率5%以下)させて下さい(気温5℃以下湿度85%以上や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)



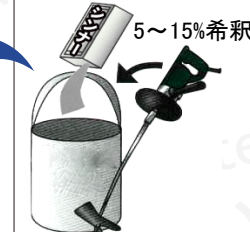
2 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。



3 【下塗り】 プールコートバリュースプライマーの主剤と硬化剤をよく混ぜて下さい。



4 主剤と硬化剤を4:1(重量比)の割合で混合し専用シンナーで5~15%希釈し攪拌して下さい。



5 刷毛、ローラーにて塗装します。(フレークが入っていると表面がザラザラ仕上がります。ローラーネット等でよくしごきながら塗装して下さい。)



6 【乾燥】 8時間以上(20℃)乾燥させて次工程(7日以内) プールコートマイルドスペシャルの主剤と硬化剤をよく混ぜて下さい。



7 主剤と硬化剤4:1の割合(重量比)で配合し専用シンナーで5~15%希釈します。



8 【中塗り・乾燥】 刷毛・ローラーにて塗装し、10時間以上(20℃)乾燥させて下さい。(7日以内に次工程。)



9 【乾燥】 10時間以上(20℃)乾燥させて次工程(7日以内) プールコートマイルドAU主剤と硬化剤をよく混ぜて下さい。



10 主剤と硬化剤を4:1の割合(重量比)で配合し専用シンナーにて5~15%希釈し刷毛・ローラーにて塗装します。(2回塗り)



11 【上塗り・乾燥】 刷毛・ローラーにて塗装し乾燥させて下さい。(塗装間隔:10時間以上7日以内(20℃))



【養生】
養生 7日以上
塗装後注水までの養生日数が不足しますと、塗膜の膨れや剥離並びに早期チョーキングや退色の原因となりますので最低養生日数は厳守して下さい。特に冬期は乾燥が遅くなりますので塗装間隔、注水までの養生日数は十分に取って下さい。プール素材の表面温度や風などの影響も受けますのでご注意下さい。

- 気温5℃以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風、塵埃の多い時、炎天下および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないようにし必要に応じて保護めがね、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意してください。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手の届かない一定の場所を定めて、空気中の湿気と反応しますので、空気が入らないように密栓し冷暗所に保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んで取扱ってください。
- 旧塗膜を半分以上除去しなければならないような場合は、施工システムRC-301に準じてください。
- 旧塗膜の劣化、膨れ・剥離が著しい場合は、全て除去して下さい。旧塗膜がアクリル・塩ビの場合も全て除去して下さい。剥離材の使用は密着不良の原因となりますので水洗して完全に除去して下さい。
- 新設のコンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下含水率はデジタル式水分計測定5%以下になってから施工して下さい。ポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムが結露していないことを塗装条件とします。
- 新設のコンクリート、モルタル表面に形成されるレイタンスによる脆弱層はポリッシャー等で完全に除去して下さい。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 水分と反応硬化しますので、湿度、雨、汗等にも充分注意して下さい。開缶後は速やかに使用して下さい。主剤と硬化剤は必ず規定の配合比(重量比)で配合して下さい。
- 入泳者の極端に少ない室内プールでは早期に脱色や白亜化する場合があります。時々表面を洗って頂くか塗替え周期を短くして頂く必要があります。
- 下地の水分が多い場合は、塗膜の膨れ剥離の原因となります。
- 表面のジャンカや目違いの面修正はダイドレージモル、プールセメントWを使用して下さい。他のセメントフィラーは剥離、膨れの原因となります。
- 緻密で吸込みの少ない面はダイヤモンドサンダー掛け、ブラスト処理、エッチング処理を行って下さい。
- 最終塗装の際、使用するローラーは毛抜け処理を行ってから塗装して下さい。毛が抜けて突起の原因となります。
- 屋内プールを塗装する場合は、送風機等にて施工中、施工後十分に換気を行って下さい。
- 塗装後注水までの養生日数が不足しますと塗膜の膨れや剥離、早期チョーキング退色の原因となりますので最低養生日数は厳守して下さい。
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性能が十分に発揮されない場合があります。

※ 防滑(滑り止め)仕上げにする場合はプールコートマイルドAU1回目塗装後、直ちにケイ砂を散布し(0.1~0.2kg/m²)乾燥後余分な砂を除去しさらに上塗りを塗装して下さい。

※ 塗替えで旧塗膜がアクリル、塩ビ系の場合は、全て塗膜を除去して下さい。

※ 黒点が発生している老朽化したFRPプールの場合はライニング工法が必要となります。

※ プールサイドには、「アクアストリート」、「スーパーエコ体感」等の塗装をお奨め致します。

※ モルタルのクラックや浮き等は、プールコートパテや、水中ボンドで処理し、プールセメントW等にて不陸調整を行なって下さい。